

人工股関節置換術は、 あなたを痛みから解放し無痛の 歩行を提供します！

人工股関節置換術とは？

股関節を人工物で置き換え、正常に近い股関節の働きを取り戻す手術です。

関節痛ってどんなこと？

普段、自然に動かしている腕、指、脚などの関節に痛みが出ると気になって生活に支障をきたします。たとえば、腕を伸ばして物を取るとき肘が痛いから物が取りにくい。服を着るときに肩が痛いから着づらい。階段の昇降のとき「ひざ」が痛いので階段を避けてしまう。特に体重を支える股関節に痛みが来た場合、それは突き上げ

る様に痛く、床に座る、床から立ち上がる、重い物や散歩などの日常生活が困難になります。そして、動くときから楽しいバス旅行や遠出をあきらめてしまいます。そうすると気持ちが減入り、精神的に落ち込んでしまいます。

人工股関節置換術の役割は？

思い切って手術をされた方々から「あれほどつらかった股関節の痛みが嘘のようにとれて痛くない」と異口同音に微笑んで答えてくださいます。このように、人工股関節置換術は痛みを取り力強い歩行を提供します。そして、日常生活を楽しくします。

人工股関節置換術が必要な人はどんな人？



股関節に変形をきたし、歩行時や安静時にも痛みがあり「座る、立ち上がる、歩く」などの日常生活に支障をきたした方々です。例えば、変形性股関節症、大腿骨頭壊死症、関節リウマチ、股関節周辺の骨折などです。

人工股関節置換術を行うタイミングは？

骨折の場合を除いて、この手術

はいつまでも待機が可能です。命にかかわる病気ではないため、あわてる必要はありません。しかし、痛みが強い、動きが悪いなどで日常生活に支障をきたし悩んでいる時が「その時」です。「手術の決断」はあなたがしてください。手術をするかどうか迷っているときはまだ待つこともできます。先生とよく相談なさってください。

年齢制限はあるの？

通常は55才以上とされていますが、関節の破壊が激しく痛みが強く日常生活に非常に支障をきたしている場合は55才以下の若年者の方にも行います。日本人の平均寿命は年々延長しており、平成29年簡易生命表によりますと55才の女性は約33年、男性は約28年の余命です。これは、手術した人工股関節の耐用年数に関係します。前任の愛知医科大学での人工股関節置換術の結果をみると、術後20年で少なくとも93%の患者さんに痛みがなく、レントゲンにも問題はありませんでした。

入院の費用と入院期間は？

入院の費用は、年齢や所得にて

違いがあるため一概には言えません。例えば70歳で課税所得145万円以上の方は、自己負担割合は3割ですが、医療費が高額な場合、高額療養費制度が利用でき、自己負担限度額は80,100円からとなります。

入院期間は、手術前日入院、手術後1週間以内に歩行練習、2週で杖歩行や日常生活訓練（床からの立ち上がり、階段昇降、入浴訓練）など合計3週で退院です。早い方は2週以内で自宅退院されています。

検診は必要なの？

1年毎の定期検診が非常に大切です。あなたの人工股関節の状態をレントゲンにて確かめるためです。「検診日を間違えた」「忘れて過ぎてしまった」などで、行くのが恥ずかしい、面倒だと考えないでください。検診はすべてご自分のためです！是非、電話して予約してください。我々はいつでもお待ちしております。

手術の副作用(合併症)は？

もちろん手術には危険も伴いますが、それは非常に頻度が少ない

ものです。

以上、人工股関節置換術について述べさせていただきました。この記事をお読みになり、ご自分またはお知り合いに股関節で悩みのある方がいらっしゃれば、一度、ご相談ください。

岐阜市民病院 整形外科 大塚博巳 先生

- 専門分野
成人股関節疾患の外科的治療(変形性股関節症、大腿骨頭壊死症など)
- 役職
人工関節センター長
- 主な資格、認定
日本整形外科学会専門医
- 卒業年、主な職歴
昭和56年愛知医科大学医学部卒
平成19年～平成27年愛知医科大学整形外科准教授
日本整形外科学会会員
日本股関節学会評議員
日本人工関節学会評議員
Cemented Hip Education Foundation会長



今月の先生